

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：12月出荷に適したスプレーストックの優良品種の選定			
〔要約〕スプレーストックの12月出荷に適する品種は「ES-802」、「スノーフェアリー」、「オールダブルシャンテ No.85」、「BS-1267」及び「KS - SHWHM」である。いずれも無鑑別種であり、「オールダブルシャンテ No.85」は黄色、残りは白色系の品種である。			
キーワード スプレーストック、12月出荷、品種比較、品種審査会			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 野菜・花き研究室	
	協力機関	(一社) 日本種苗協会	
実施期間	2022年度		

〔目的及び背景〕

ストックは千葉県を代表する切り花品目で、安房地域を中心に生産が行われている。平成30年度の産出額は7.7億円と全国1位であり、東京都中央卸売市場の取り扱い占有率は5割を超える。ストックにはスタンダード系(1本立)品種とスプレー系(分枝)品種があり、スプレー系ストックは、安房地域のみならず、夷隅地域や君津地域でも生産が行われている。切り花は11月～3月にかけて出荷されるが、需要が高まる12月の単価が高い。よって、生産者からは12月出荷に適した品種選定が望まれている。

なお、本試験は第68回全日本花卉品種審査会ストック(スプレー系・冬出し)として実施する。

〔成果内容〕

- 令和4年12月15日に行われた立毛審査結果は、1等特別賞が「ES-802」、2等が「スノーフェアリー」及び「オールダブルシャンテ No.85」、3等が「BS-1267」及び「KS - SHWHM」であり(表1)、これら入賞5品種が12月出荷の適品種である。5品種の特性は次のとおりである。
- 発芽率は、「スノーフェアリー」は62%でやや低いが、それ以外は100%に近い(表2)。いずれも八重鑑別が不要な無鑑別種である。
- 入賞品種の50%開花日は、「KS - SHWHM」が早く、次いで「ES-802」、「スノーフェアリー」、「BS-1267」、「オールダブルシャンテ No.85」の順となる(表3)。
- 花色は「オールダブルシャンテ No.85」が黄色であり、残りの品種は白色系である(写真1)。
- 切り花形質は、いずれも切り花長70cm以上、切り花重140g以上であり、参考品種「カルテットホワイト」を上回る(表4)。また、有効枝数は、いずれの入賞品種とも千葉県園芸作物標準出荷規格(花き編)の品質・階級区分である4本以上を満たす。

[留意事項]

試験年の気温は、11月後半まで平年より高い時期が多く、12月後半以降は平年より低く推移した（図1）。本結果は、これらの気象の影響を受け、生育の早い品種は開花が早まり、年明け後は開花の進みが全体的に遅れている。利用に当たってはこの点を注意する。

[普及対象地域]

県内全域のスプレーストック栽培者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 第68回全日本花卉品種審査会ストック（スプレー系・冬出し）の入賞品種

順位	等級	出品番号	品種名	立毛審査の平均点	花色	出品社名
1	1等特	6	ES-802	87.11	白	タキイ種苗（株）
2	2等	4	スノーフェアリー	82.00	白	福花園種苗（株）
3	2等	7	オールダブルシャンテNo. 85	81.67	黄	（株）ムラカミシード
4	3等	3	BS-1267	80.78	純白	タキイ種苗（株）
5	3等	2	KS-SHWHM	80.56	純白	（株）クロカワストック

- 注1) 令和4年8月10日に培養土ガッチリくんタネまき用N120（トキタ種苗（株））を用いて育苗箱に播種し、鑑別種は8月17日と24日の2回に分けて八重鑑別を行った
 2) 9月1日に無加温ハウス内に株間15cm、条間15cmの7条で定植した
 3) 基肥には、くみあいCDU複合燐加安S555（15-15-15、ジェイカムアグリ（株））を120kg/10a、追肥には、くみあい燐硝安加里S604（16-10-14、ジェイカムアグリ（株））を10月11日に32kg/10a施用した
 4) 令和4年12月15日、公的機関及び出品種苗会社各社からの審査員11名により、100点満点で立毛審査を行った
 5) 表中の入賞品種はいずれも無鑑別種である

表2 供試品種の播種7日後の発芽率

出品番号	品種名	種子50粒当たりの発芽本数			発芽率 (%)
		反復1	反復2	平均	
2	KS-SHWHM	50	50	50	100
3	BS-1267	50	50	50	100
5		50	50	50	100
6	ES-802	50	50	50	100
8		50	50	50	100
10		50	50	50	100
1		48	50	49	98
7	オールダブルシャンテNo. 85	48	50	49	98
15		49	47	48	96
12		47	44	45.5	91
14		48	42	45	90
4	スノーフェアリー	30	32	31	62
13		32	26	29	58
9		22	24	23	46
11		7	14	10.5	21

- 注1) 出品番号1～10は無鑑別種、11～15は鑑別種
 2) 令和4年8月10日、水を含ませたろ紙を敷いた9cmシャーレに50粒ずつ播種し、23℃暗黒条件下で調査した

表3 供試品種の発蕾日と開花日

出品番号	品種名	発蕾日			
		50%	10%	50%	90%
5		10月 9日	11月11日	11月17日	11月28日
13		10月 7日	11月 4日	11月17日	12月 5日
9		10月10日	11月12日	11月21日	11月29日
11		10月 8日	11月 9日	11月22日	12月12日
2	KS-SHWHM	10月13日	11月14日	11月23日	12月 1日
12		10月10日	11月15日	11月25日	12月 7日
6	ES-802	10月21日	11月24日	11月29日	12月 4日
10		10月17日	11月23日	11月30日	12月22日
4	スノーフェアリー	10月17日	11月23日	12月 5日	12月24日
1		10月29日	12月 4日	12月17日	1月10日
3	BS-1267	10月29日	12月 5日	12月17日	1月10日
8		10月20日	12月 1日	12月20日	1月13日
7	オールダブルシャンテNo. 85	10月24日	12月 8日	12月21日	1月 8日
15		10月24日	12月16日	1月 2日	1月20日
14		10月28日	1月 1日	1月16日	2月 3日
(参考) カルテットホワイト		10月10日	欠測	11月29日	12月16日

注1) 耕種概要は表1と同じ

2) 発蕾日は各株に蕾が初めて観察できた日、開花日は各株の概ね3枝に小花が3輪ずつ開花した時点とした

3) 出品番号9番と11番は1区98株、参考の「カルテットホワイト」は1区42株、その他は105株×2区の平均



1等特「ES-802」



2等「スノーフェアリー」



2等「オールダブルシャンテ No. 85」



3等「BS-1267」



3等「KS-SHWHM」

写真1 入賞品種の開花状況（令和4年12月16日撮影）

表4 供試品種の切り花形質

出品番号	品種名	切り花長 (cm)	主茎長 (cm)	切り花重 (g)	葉数 (枚)	有効枝数 (本)	無効枝数 (本)	小花数 (輪)	花穂長 (cm)	花穂幅 (cm)	茎径 (mm)	小花径 (mm)
5		102.1	80.8	142.3	46.6	5.4	0.2	73.0	20.0	20.8	5.9	44.2
3	BS-1267	100.9	81.0	160.0	59.3	6.3	0.4	92.6	15.2	24.7	7.1	41.9
1		100.6	78.4	186.2	61.9	6.7	0.5	100.1	15.3	23.4	8.1	41.9
7	オールダブルシャンテNo.85	100.2	78.1	189.6	58.2	5.8	1.9	94.7	15.0	18.2	8.1	44.9
14		99.0	69.9	267.6	52.9	5.0	2.1	111.0	17.0	16.6	10.2	40.0
10		94.2	69.8	140.3	44.8	4.9	0.6	60.6	13.9	18.2	6.1	43.2
15		93.1	65.9	156.9	54.4	4.6	2.6	54.7	17.5	15.0	7.8	43.4
6	ES-802	93.0	71.7	144.9	55.6	4.7	0.6	74.1	15.0	16.7	7.4	40.4
8		87.0	63.3	160.2	46.5	5.1	1.1	76.3	14.0	15.2	6.8	40.3
4	スノーフェアリー	82.7	64.1	166.7	54.4	5.6	1.8	97.5	14.2	18.0	8.3	41.3
2	KS-SHWHM	77.5	62.9	160.6	54.5	7.5	0.5	109.2	15.0	21.5	7.5	41.2
12		73.1	53.0	145.0	39.0	6.5	0.9	102.1	14.3	15.6	7.4	37.9
13		71.2	49.2	169.3	42.4	5.9	1.1	96.6	14.7	15.8	8.9	40.6
(参考) カルテットホワイト		70.2	49.7	137.3	40.4	6.2	0.8	95.5	14.1	17.2	7.5	41.3

注) 品種審査会の試験区とは別に、同じハウス内に21株ずつ定植し、生育が中庸な10株について小花が3枝3輪ずつ開花した日に収穫して調査した

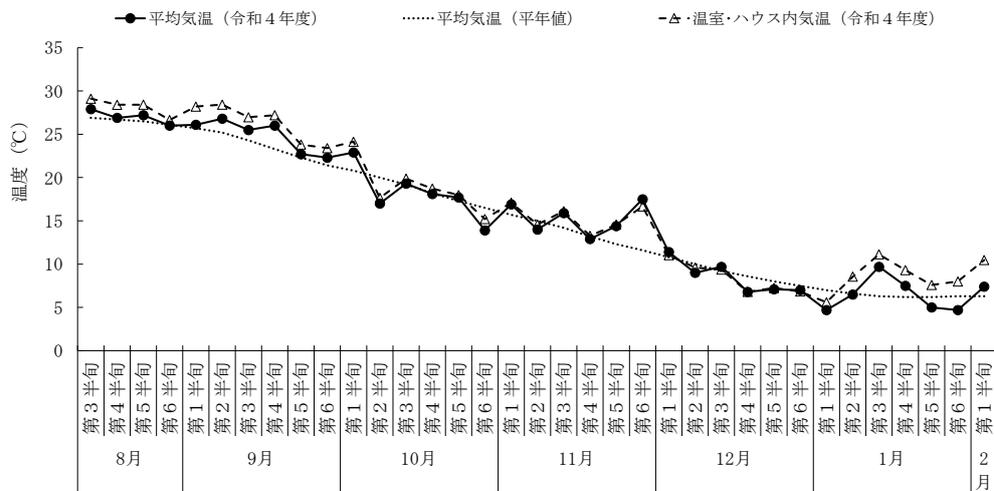


図1 試験期間中における半月別の気温推移

注) 温室・ハウス内気温はおんどり (T&D社製 RTR-502) にて測定、他は気象庁館山特別地域気象観測所のデータによる

[発表及び関連文献]

[その他]